

2019年度

さくらんぼ



2月号

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴子ども発達支援施設「さくらんぼ園」(Tel.64-5798・FAX62-9171)

教えると同時に認めることも

舞鶴にずっと住んでいる人にはわかる、うまく言葉では表現できませんが、「雪の気配」というものを、今年はまだ感じたことがありません。去年も、雪が積もったという記憶はありませんが、今のところ、今年は特別です。さくらんぼ園の除雪機も、じっと待機中です。

1月の初め、市役所で、ある保育園の園長先生に出会い、新年のあいさつをした後、「雪が降らないので、ありがたいですね。」と言いました。すると、園長先生は、「そうですけど、子どもたちと雪で遊びたいです。」

と言われました。はっとしました。誰の立場で物を見ているかです。同じ園長でありながら、私は、ちょっと恥ずかしいなと思いました。子どもの頃、あれだけ雪と遊び、その楽しさを知っているのに。

さて、12月のある日の夕方、会議の案内状を持って余内小学校に行ったときの事です。職員玄関に入ったところで校長先生と立ち話をしていると、一組の親子が入って来ました。どうやら、その男の子は、教室に忘れ物をしたらしく、お父さんと取りに来たようでした。1年生の担任の先生が職員室から出てきて、教室に行くことになったみたいで、その子は、玄関で下靴を脱ぎました。後ろ向きになって、靴先をそろえてゆっくり脱ぎました。その様子を見て、「靴をそろえて脱ぐなんて、すごい子やなあ。」と、思わず言ってしまいました。もしかしたら、その子は、家では脱ぎっぱなしなのかも知れません。(子どもだから、むしろそうであってほしいくらいです。)感心したことは、ちゃんとした場で、礼儀が実行できることです。その子は、よその家に行ったときは、靴はそろえて脱ぐことを親に教えられ、実行しているのかも知れません。友達の家遊びに行ったとき、みんながそうしているのを見て、実行しているのかも知れません。その子ができるようになった理由はわかりませんが、礼儀は、生まれつき身につけているものではなく、誰かから学んだものです。

保護者の皆様も、日常の生活の中で、簡単な礼儀について、ここぞというときに、お子さんに教えられることもあると思います。教えたら身につく。気持ちと行為を伴う礼儀は、そんな単純なものではありません。どうしたら、あいさつをしたり、お礼を言ったりするなどの礼儀が実行できるようになるのかはわかりません。しかし、自分がした行為が誰かから認められて初めて、子どもはそうすることがいいことだと思い、だんだんと繰り返すようになることは確かなことです。教えると同時に認めること、礼儀に限らず、子育てで大事にしてほしいことです。

ちなみに、その子のお父さんは、家で厳しい躰をしておられるようなお父さんではなく、「寒いのでここで待っていてください。」と言っても、私たちが話していたので、遠慮して外で待つようなお父さんでした。

2月もよろしくお祈りします。

園長 小谷 和弥
職員 一同





療育表



月	火	水	木	金
3 午前療育 午後療育	4 午前療育 午後療育	5 午前療育 午後療育	6 午前療育 午後療育	7 午前療育 午後療育
10 午前療育 午後療育 親子療育	11 建国記念 親子療育	12 午前療育 午後療育	13 午前療育 午後療育	14 午前療育 午後療育
17 午前療育 午後療育	18 職員会議 午後療育	19 灘先生 午前療育 午後療育	20 午前療育 午後療育	21 午前療育 午後療育
24 振替休日	25 午前療育 午後療育	26 午前療育 午後療育	27 午前療育 午後療育	28 午前療育 午後療育

2月の予定



*灘先生来園日…19日(水)

*山下浩二臨床発達心理士の相談は
随時受け付けます。

*親子療育(母親教室)は、4日(火)~10日(月)
です。それぞれの療育時間に行います。

◎今年度最後の母親教室です。出席をお願いします。

3月の予定

*17日(火)は年長児の卒園式を行います。詳しい
ご案内は改めて配布いたします。



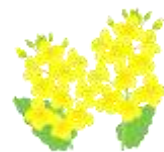
1月の療育

1月は、舞鶴市内の学校の先生方に来園いただき、年長児を対象とした就学に向けての連絡会を行いました。さくらんぼ園で取り組んできた必要な支援や効果的な取組の他、個々について配慮すべき点などを就学先に伝えることが目的です。

また、保護者の皆様と情報を共有し、スムーズな移行支援につなげるためのツールとして『移行支援シート』を作成し、切れ目のない支援が実現するよう引き継いでいくこともねらいとしています。

それぞれの療育の様子を参観してもらった後、担当指導員が学校の先生方と懇談をして、『良いところ』・『得意なこと』・『これからの課題』などを伝えました。

就学する学校の先生方と連携を図るこの取り組みは、充実したものになりました。



主任 佐藤育代